

青山学院スクールモットー

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

(マタイによる福音書 第5章13～16節)



青山学院中等部

AOYAMA  
GAKUIN

JUNIOR HIGH SCHOOL

2023

青山学院中等部

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25  
TEL 03-3407-7463

<http://www.jh.aoyama.ed.jp>





## 中等部進学を考えている皆さんへ

中学生として過ごす3年間は、皆さんの人生にとってかけがえのない大切な期間です。これからの人生の進むべき方向を探し求め、その基礎を育む時期、あるいは、様々な事गरらに会い、夢中になって挑戦することで、自分に与えられた賜物(能力、才能)を伸ばす時期でもあります。

皆さんはどのような人々と出会い、どのような環境のもとでこの3年を過ごしたいと思いますか? 聖書に「鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。(箴言27・10)」という言葉があります。皆さんはこれから出会う多くの人々によって磨かれ、成長していくのです。青山学院中等部は、多くの人々を引き付け、新しいものを生み出すエネルギーに満ちた最先端の街、渋谷に位置しています。またキャンパスには幼稚園生から大学生、世界中からの留学生や各分野の第一線の研究者たちなど、年齢・性別・国籍を超えた様々な才能ある人々が集い、過ごしています。

青山学院中等部には皆さんと、これから出会う皆さんの友人たちが互いに磨き合い、自由な雰囲気の中で、クリエイティブ(創造的)な人間へと成長していく環境が整っています。そんな青山学院中等部で学んでみませんか。

皆さんと共に学べる日が来ることを心より願っています。

青山学院中等部 部長  
上野 亮

## 青山学院教育方針

The Educational Policy of Aoyama Gakuin

キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、  
神の前に真実に生き 真理を謙虚に追究し  
愛と奉仕の精神をもって  
すべての人と社会とに対する責任を  
進んで果たす人間の形成を目的とする。



# 青山学院の一貫教育

Aoyama Gakuin's Integrated Education

一貫校の流れについて、詳しくはホームページへ

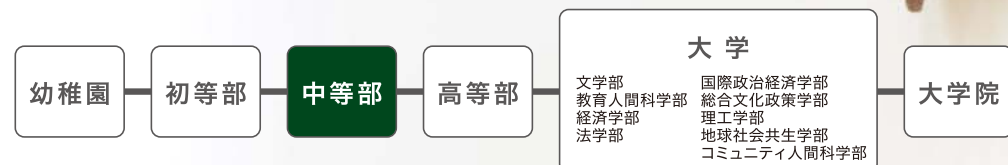
<http://www.jhaoyama.ed.jp/introduction/consistency.html>



## 青山スピリッツの継承

中等部から大学まで、一貫した教育体制の中で安心して充実した教育が受けられます。

青山学院の中等部の生徒は、約95%以上が高等部に進学しています。高等部では、青山学院大学にない他大学の学部などに進学する場合を除き、約85%が青山学院大学に内部進学しています。そのため、受験勉強や競争にとらわれない、ユニークで幅広い学びができます。



中等部

高等部

大学

## 明治初期から続く青山学院の軌跡

青山学院の源流は、明治初期にアメリカから来日した3人の宣教師が開講した「女子小学校」「耕教学舎」「美曾神学校」の3校からなり、今年で創立148年を迎えます。1947年(昭和22年)、第二次世界大戦後の教育改革の中で、中等部は新しい男女共学の中学校として開設され、開校以来キリスト教に基づく一貫教育を行っています。

## 中等部の沿革

1947年に開設され、2022年に創立75周年を迎えました。

### 1947

**草創期** 1947-1965  
【昭和22年～昭和40年】

1947年の創立後、木造2階建校舎で始まった中等部。その後体育館・図書館・工作室・新校舎も建設。

- 1947年 第1期生の入学式を挙行
- 1951年 「学友会」を発足
- 1965年 新校舎が完成



### 1966

**飛翔期** 1966-1976  
【昭和41年～昭和51年】

大きな特色である3年生の選択授業がスタート。現在に至る青山学院講堂も完成。

- 1969年 青山学院講堂が完成
- 1971年 3年生の選択授業を開始
- 1975年 「飛翔の鐘」を建設



### 1977

**変革・発展期** 1977-1996  
【昭和52年～平成8年】

この時期、中等部・高等部を一本化して、現在の青山学院一本化の基礎を築きました。

- 1977年 グラウンド改修  
アーバンコート完成
- 1986年 中等部・高等部を一本化
- 1996年 水泳授業を開始



### 1997

**新世紀** 1997-2020  
【平成9年～令和2年】

グローバル時代を反映して海外訪問プログラムを開始。新校舎も設立して現在に至ります。

- 2001年 フィリピン訪問プログラムを開始
- 2003年 韓国・学校訪問プログラムを開始
- 2005年 3年生沖縄旅行を開始
- 2009年 講堂の鐘を設置
- 2017年 現在の新校舎が完成
- 2019年 礼拝堂が完成



2023 さらに未来へ!







# 中等部の学びの環境

Junior High School Learning Environment

学びの環境について、詳しくはホームページへ

<http://www.jh.aoyama.ed.jp/education/index.html>



## 少人数でゆとりある 学びの環境を完備

きめ細かい指導を行うために、一人ひとりに目が届く全学年1クラス32名8クラス制を導入しています。週5日制・31時間授業で、ゆとりを持ちながら基礎学力の充実を図っていきます。

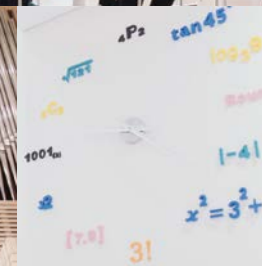
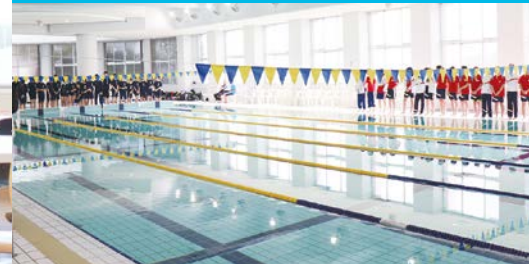
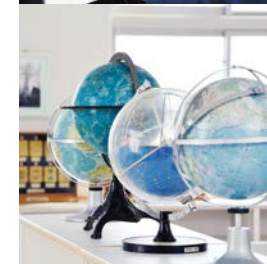
## ゆとりある環境の中で 一人ひとりの 個性と自主性を育みます。

本校では、基礎学力の習得はもちろんのこと、一人ひとりの生徒の可能性を引き出し、その個性と自主性を伸ばす教育が特色です。学校全体を「問い続ける学びの場」として、充実した設備に囲まれながら、みずからの学びを積極的に追求していきます。



## 知性と人格を磨く 充実した教育カリキュラム

将来に必要な学力をつけながら、それぞれの個性や才能を磨くために、充実したカリキュラムを取り入れてしっかりサポートしています。さらにキリスト教信仰に基づいて、たがいに協力し合う人格も育てます。



## 従来の科目にとられない 週2時間の選択授業

3年生が履修する週2時間の選択授業も中等部の教育の大きな特色です。20以上の講座は、韓国語・ソーシャルインノベーション入門・暗号・名画の模写など、従来の科目にとられないユニークなものも多く、生徒は自分が関心あるものをさらに深めていくことができます。



### Message For Parents

めまぐるしく変わるこの現代社会に適應できるように、最先端のICT設備などを完備してお子さまをサポートします。多彩なツールを用いて知的好奇心を刺激し、能動的な学びを引き出すことが大切だと考えています。



# 教科センター方式

Subject Center Method

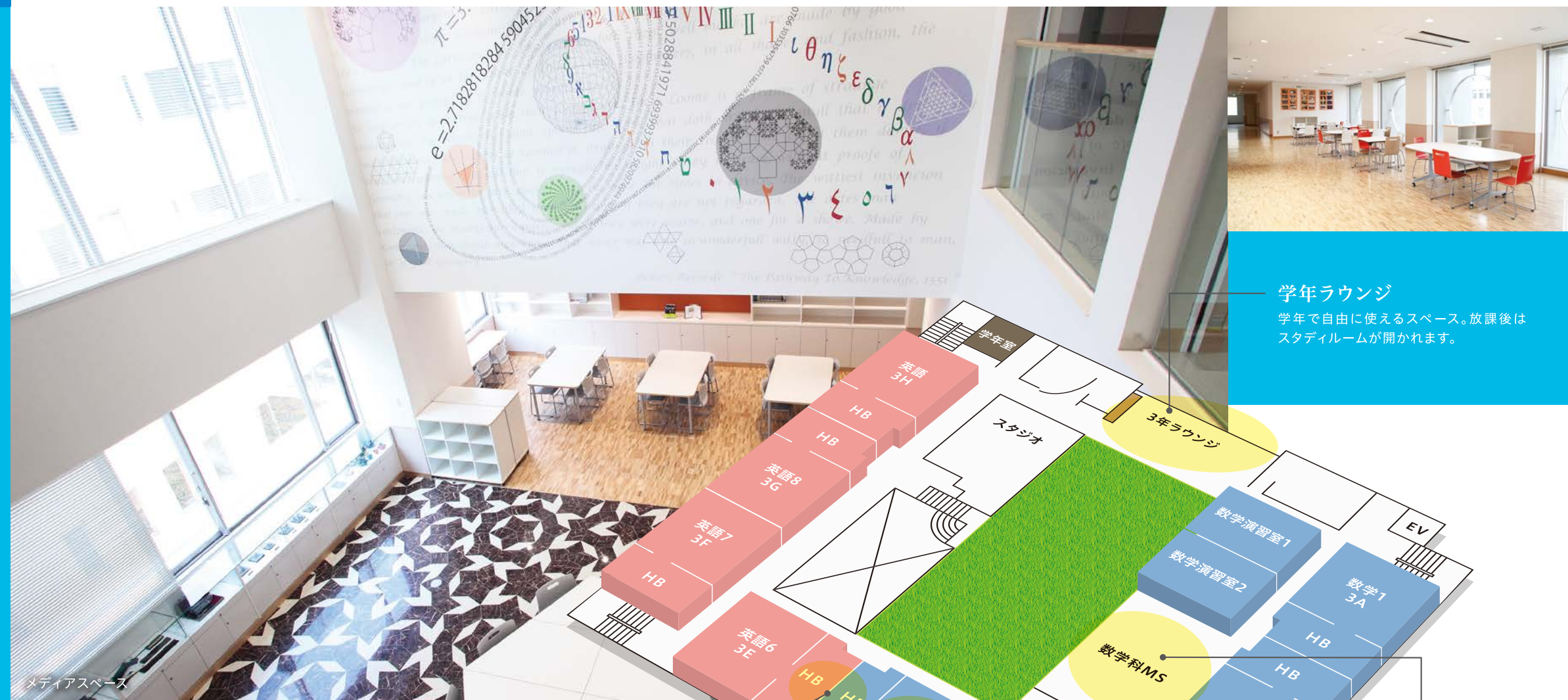
教科センター方式について、詳しくはホームページへ

[http://www.jh.aoyama.ed.jp/introduction/new\\_building.html](http://www.jh.aoyama.ed.jp/introduction/new_building.html)



「待つ」から「向かう」へ。  
知的好奇心を刺激する  
次世代型の学習へ。

2017年に完成した新校舎では、  
各教科が専用のゾーンを持ち、専用の教室、  
メディアスペース、先生の教科準備室を  
隣接させた新しい学びの方式を採用。  
HRで先生を「待つ」授業から、  
専用教室へ「向かう」授業へと転換し、  
積極的・自主的に学ぶ姿勢を身に着けます。



メディアスペース

## 多くの出会いを生む校舎

授業間に専用教室を移動することで行動範囲が広がり、  
多様な個性を持った生徒同士が、  
クラスや学年を越えて交流を持つことができます。

## 学年ラウンジ

学年で自由に使えるスペース。放課後は  
スタディルームが開かれます。

## メディアスペース(MS)

教科ごと、各フロアにあるオープン  
スペース。プレゼンテーションや協  
働学習の場としても活用されてい  
るほか、休み時間の生徒の居場所  
など、使い方も様々です。

## ホーム・ベース(HB)

個人用ロッカー等があるクラスの生活拠  
点となります。

## 展示物の充実

専用教室やメディアスペースでは、教材・  
教具・生徒の作品やレポートなどを常時  
展示。学習の興味を深めたり、他の人の  
考えを知る機会に。

## 専用教室

授業で使用する教科専用教室で、すべての  
教室には電子黒板を配備。ホームルーム  
教室とも兼用します。

### Message For Parents

「教科センター方式」は青山学院中部ならではの特  
徴です。従来型の教室に比べて、生徒自身の興味や知的  
好奇心を刺激する工夫が各所にほどこされ、主体的な  
学びを促す、より充実した教科教育が可能になります。



# 教科学習

Subjects

教科学習について、詳しくはホームページへ

<http://www.jh.aoyama.ed.jp/education/subjects/index.html>



幅広い視野を持った人間として、  
基礎学力の充実を図ります。

単に知識をつめこむのではなく、教科を学ぶことで  
自分に与えられた賜物(能力・才能)を伸ばし、  
この世界で貢献できる人間となることを目指します。  
学習意欲を高め、主体的な学びを促すために、  
生徒中心の教科センター方式(P.9)を導入し、  
より興味を深めた学習ができるよう配慮しています。



## 数学

Mathematics

思考力を養い、深める

基本的な概念や原理・法則の理解を  
深め、事象を数学的・論理的に考察し、  
自ら問題解決する能力を育てます。



## 社会

Social studies

多面的視野で世界を見る

一人の市民として多面的・多角的な視野  
を持って考え、社会の課題を発見し、主  
体的に解決するための力を養います。

## 理科

Science

科学を学び、自然を理解する

実験・観察を重視し、自然に対する深い理  
解と関心を育てます。科学的な見方、考え  
方を育成し、人間や社会への科学の責任を  
考えます。



## 英語

English

国際化時代のために

国際的なコミュニケーションの道具とし  
て英語を学び、国や文化の違いを越え  
て、社会に貢献できる人を育てます。



## 音楽

Music

豊かな感性を育む

音楽によって表現することや、感動する  
心を育てます。音楽の仕組みを理解する  
ことによって感性を育てていきます。



## 美術

Art

自己表現できる力を

素材との触れ合いを通して人生を問い、自  
己表現し、自分を発見して確立します。



## 聖書

Bible class

神と出会い、神に生かされ  
ている自分に気づく

毎日(2時間目と3時間目の間の15分)、  
全校生徒がHRで礼拝を行います。  
週1時間の聖書の授業ではキリスト教に  
関する学習にとどまらず、人としての生き  
方なども学びます。



## 国語

Japanese

ことばと心を豊かに

聞く・話す・読む・書くことを有機的に機  
能させ、豊かなことばと心で深く考える  
力を養い、相互理解を深めます。



## 技術家庭

Technology / Home Economics

衣食住の生活力を学ぶ

プログラミングなどの情報分野に力を入れ  
ながら、ものづくりの大切さや、生活に対す  
る実践的な態度を培います。

## 保健体育

Health / Physical education

健康で安全な人生を

運動技術、技能を身につけて体力向上を  
図り、生涯健康に生きる基礎を培います。





# 選択授業

Elective Lessons

選択授業について、詳しくはホームページへ

[http://www.jh.aoyama.ed.jp/subject\\_list/選択授業/](http://www.jh.aoyama.ed.jp/subject_list/選択授業/)



## 才能と可能性を伸ばす ユニークな発展的学習。

3年生が履修する週2時間の選択授業は、従来の科目にとられないユニークなものがたくさん。個人の特性に応じた学習を通じて、関心のある分野を追求する資質を伸ばします。

※毎年25講座前後を開講。



### 数学 暗号入門

Introduction to cryptography

暗号の歴史をたどり  
数学的思考を身に着ける

紀元前から続く暗号の歴史から現代の公開鍵暗号まで学び、数の理論がどのように関係しているのか学びます。暗号の作成や解読も行いますがメインは数学です。有名なフェルマーの最終定理なども紹介。



### 美術 テンペラと油彩

Tempera and oil painting

中世西洋の名画を彩る  
奥深い美の世界

卵の黄身を使って描く「エッグ・テンペラ」をベースに、その上に油彩を重ねる技法を習得。中世の雰囲気を感じながら、1枚の名画の模写を1年かけてじっくり取り組み、その額縁とともに仕上げます。

### 国語 俳句

Haiku

5・7・5で表現する  
自然を愛する心

季節感ある言葉(季語)を学び、句会をします。外に出て俳句を作る「吟行」では、日帰り小旅行や一泊吟行会に行くことも。(過去に狭山新茶摘吟行、御嶽・奥多摩一泊吟行、鎌倉・江ノ島吟行を実施)



### 理科 理科実験

Science experiments

高度なテクニックを  
要する実験に挑戦

それぞれがテーマを決めて実験・観察を行い発表。たとえば化学では水溶液の分析、香料の合成、生物では解剖を通じて進化の過程を学び、物理では水ロケット・火薬ロケットなどを作成し、力学を学習します。



### 韓国語 韓国のことばと文化

Korean language and culture

アンニョンハセヨ!  
参加型の異文化体験

韓国語の簡単な読み書き・文法を学び、韓国語で自分の意志を簡単に表現できることを目指します。ドラマやK-POP・韓国料理実習や伝統衣装試着・交流会などを通して楽しく異文化体験ができます。



### 社会

### ソーシャルイノベーション入門

Introduction to Social Innovation

現代社会の課題について  
主体的に学ぶ機会を

各自関心のある現代社会のトピックを調べ、多様な意見・立場を理解し、新しい視点や方法で協働する力を養います。株式学習、模擬国連、校外学習や外部の専門家による特別授業の機会なども設けています。



### 体育

### ラクロス

Lacrosse

迫力とスピード感ある  
ユニークなスポーツ

バスケットや野球、サッカーなどメジャースポーツだけではなく、中学校の授業では珍しい専門的なスポーツに触れることで、独特の楽しさや魅力、そして自分自身の新たな可能性を知る機会となります。



### 中国語

### 中国語紹介

Chinese language introduction

言葉・文化・習慣を学び  
国際人としての一歩を

聴く・話すを中心に発音を基礎から学び、同時に中華街散策や調理実習などを通して文化・習慣も総合的に学習。さらに企業との連携で認知言語学を応用したe-ラーニングを導入。全国中高で初の試みです。





## テクノロジーで教育を活性化する、 先進的な取り組み。

「ICT教育の先駆的存在」である青山学院中部では、  
先進の機器を駆使した恵まれた学びの環境を提供し、  
新時代を生き抜く探究心を培います。

## 1・2年生全員に タブレット完備

高度な情報社会の現代、スマホ世代の  
生徒たちには教科書やノートと同じように  
ハイスペックな情報機器を使いこなせる  
学習環境が必要だと考え、2020年から  
1年生全員にタブレットパソコンを配布  
しています。



## 時代に合わせて 新しい学びを

ICTを活用した授業では、動画や音声  
も使いながら、時にはゲーム感覚で能動  
的で多角的な学びを実現。一人ひとりの  
学習速度や興味に応じた対応も可能に  
なり、テクノロジーに裏付けされた最新  
の学びを提供します。

## “空間の特別感” ICT教室

メディアセンターの2階には、各専用教  
室に設置されているICT機器とは別  
に、空間そのものに特別感のあるICT  
教室を設置。様々なツールを用いて自由  
に学び、表現できます。



## オンライン授業

### 新しい時代に対応した<オンライン授業>。 多様な最先端の学びを臨機応変に提供。

2020年以降の休校期間中は、様々な配信授業を実施して、  
学力を低下させることなく学習を継続しました。  
最先端のオンライン授業ならではの特色を活かし、  
今後も臨機応変に対応していきます。



pick  
up

## 中国語の授業

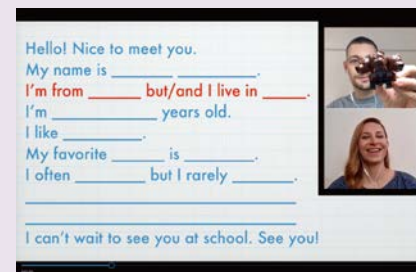
座学と並行し、企業と連携して中高初  
の中国語e-ラーニングを導入。通常の1/2  
~1/3の短時間で中国語検定に合格！



pick  
up

## 英語の授業

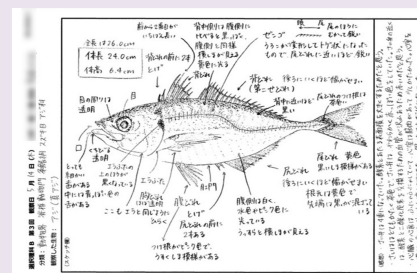
ネイティブの先生がオンラインで配信し  
た会話の動画を見て、生徒も動画を作成  
して課題を提出します。



pick  
up

## アジの観察

自宅でもできるように、解剖や観察方法  
を動画で紹介。スケッチや観察したもの  
は画像で提出します。





# クラブ・同好会

Extra-curricular activities

クラブ・同好会について、詳しくはホームページへ

[http://www.jh.aoyama.ed.jp/school\\_life/club/index.html](http://www.jh.aoyama.ed.jp/school_life/club/index.html)



心から打ち込めることに会う喜び。  
夢と可能性が広がり、人生がより豊かに。

中等部では、仲間とともに自分の“好き”を追求できる  
豊富な課外活動が充実しています。

中学の時に出会ったスポーツや趣味は一生の宝物です。

## 〈体育会系クラブ〉

剣道部／サッカー部

女子テニス部

女子バスケットボール部

バレーボール部／水泳部

卓球部／男子テニス部

男子バスケットボール部

チアダンス部

バドミントン部／ハンドボール部

野球部／ラグビー部／陸上部

## 〈同好会〉

柔道同好会／スキー同好会

ラクロス同好会

## 〈文化系クラブ〉

アートクラブ／演劇部

家庭部／茶道部

箏曲部／創作漫画部

吹奏楽部／ハンドベル部

放送部／マイコン部／科学部

## 〈同好会〉

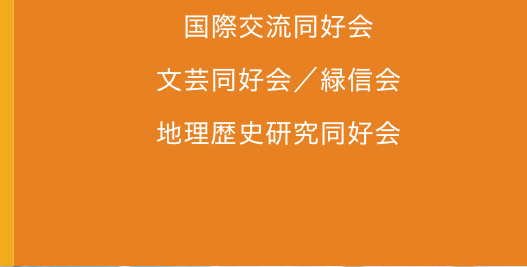
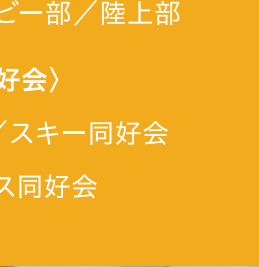
囲碁将棋同好会

オルガン同好会／音楽同好会

国際交流同好会

文芸同好会／緑信会

地理歴史研究同好会







国や文化の違いを越えて、多様性を共有する。  
国際人を育む多彩なプログラムが充実。

世界中の人々が「愛と平和」のうちに互いに認めあい、共に生きるために。  
実践的な国際交流の体験を通してグローバル感覚を身に付け、日本への理解も深めます。

Global  
国際訪問

異文化に触れ、国際感覚を養う

色々な国の人々と交流することは、それぞれの国の文化や歴史、考え方や生活習慣などをより深く知る上で大切なこと。  
中等部では、オーストラリア、フィリピン、韓国の中学校との交流プログラム、東京韓国学校との交流会などを行っています。



オーストラリア・ホームステイ

毎年、夏休みに14日間、ブリスベン郊外で行います。ホームステイ先の子供が通う中学校 Immanuel Lutheran College (ILC校) に一緒に登校して、午前中は主に英語のレッスン、午後は授業へ参加します。その他にもアボリジニアートの体験など数々の体験学習を行います。



フィリピン訪問プログラム

隔年、春休みに実施します。フィリピン訪問はチャイルド・ファンド・ジャパンを通して中等部が支援しているチャイルドを訪問するプログラムです。いくつかの学校も訪問します。フィリピンの生徒との交流を通して、相互に理解を深めるという目的で行われます。



韓国・学校訪問プログラム

韓国訪問では梨花女子大学附属中学校と交流を図ります。ソウル近郊の史跡を見学し、相互理解を深めます。異国に触れ、学ぶことが出来る貴重な体験プログラムです。また新宿にある東京韓国学校とも毎年交流会をひらき、隔年でお互いの学校を訪問しています。



Global  
オンライン

海外校とのオンライン交流

2021年現在、海外への渡航制限が長期化していることを受けて、中等部では2・3年生を対象としたオンラインによる海外校との交流プログラムを実施しています。日頃の英語学習を実践の場で使い、自分の思いを伝える貴重な機会です。実際に現地へ赴くことができない状況下にあっても、異なる文化・言語・価値観をもつ同世代の生徒や先生方との交流はかけがえのない体験となるでしょう。



Global  
チャットルーム

学校の中で異国体験

国際交流の一環として、海外の大学協定校からの交換留学生たちと異文化交流を行っています。自由な雰囲気の中でランチをとりながら様々な話題で盛り上がることも。



機能性・安全性・独創性に富んだ環境の中で  
豊かで楽しいスクールライフが送れます。

毎日の学校生活は、勉強はもちろん、様々な活動や交流を通じて、自分を知り、仲間を大切に作る心を育みます。学校のあらゆる場所が、創造的な活動の場となります。

LIFE  
制服

自由度の高い制服

- 【男子】 上下とも濃紺の背広型ブレザー、白のワイシャツに紺のネクタイ。
- 【女子】 グレーの襟なしブレザーと白のブラウス、スカートはチェック柄であれば自由です。夏場はブレザーやネクタイは着用しなくてもOK。
- 【オプション】 夏場のブレザー、冬場のオーバーコートは自由で、紺のセーター・ベストで通学してよい期間があります。



LIFE  
学友会

生徒による、生徒のための

学友会は学校行事の企画・運営や、学校を良くするためにどうしたらいいか考え活動している生徒会のような組織。皆で団結して様々なプロジェクトに挑み、生徒の自治・自主精神を養います。



LIFE  
メディアセンター

新発想の知の拠点

いわゆる図書館ですが、単に本を読む・借りる設備ではなく、各教科のメディアスペースと連携しながら、学校全体で学びを深める一翼としての機能を担っています。



LIFE  
相談室

安心して過ごすために

心身ともに健康でより良い学校生活が送れるように、専門のカウンセラーによる相談を毎日行っています。自分自身のこと、友だち関係のこと、どんなことでも大丈夫。



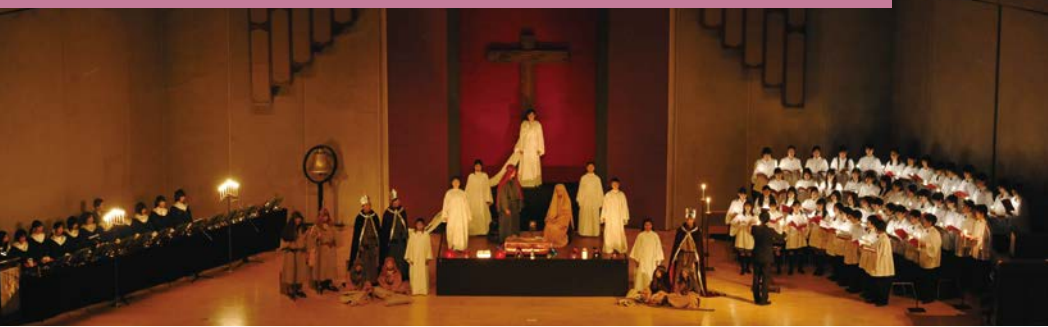
LIFE  
スタディルーム

年代を越えた交流を

放課後に大学生がスタディルームに常駐して勉強をサポートします。青山学院の一貫教育により、年代を越えた交流ができる環境は社会の縮図そのもの。







かけがえのない大切な思い出を仲間とともに。  
学校行事に主体的に参加して自主性を高めます。

学習の一環として学校行事に参加し、それぞれが責任を持って目的に沿うよう努力して行動します。

キリスト教関連や国際交流の独自の行事も充実。

## 1日の流れ

Daily Schedule

SHR  
AM8:15  
▼  
AM8:20



1時限  
AM8:25  
▼  
AM9:10

2時限  
AM9:20  
▼  
AM10:05

礼拝  
AM10:15  
▼  
AM10:30



3時限  
AM10:40  
▼  
AM11:25

4時限  
AM11:35  
▼  
PM12:20

教育目標の第一に「礼拝と聖書の学びを通して、神をおそれ人を大切にすることを育てる」と願い、「毎日の礼拝」の時間です。

月・火・水・金曜日

5時限  
PM1:15 ▶ PM2:00

6時限  
PM2:10 ▶ PM2:55

SHR  
PM3:00 ▶ PM3:10

木曜日

5時限  
PM1:05 ▶ PM1:50

6時限  
PM2:00 ▶ PM2:45

7時限+LHR  
PM2:55 ▶ PM3:40

### 最終下校時刻

4月～9月 5時00分 11月16日～1月 4時30分

10月～11月15日 5時00分 2月～3月 5時00分

※考査1週間前から30分繰り上がります。

4月

5月

6月

7月

8月

9月



入学式  
1年オリエンテーション  
イースター礼拝



母の日・家族への感謝の日礼拝  
中間テスト  
1年情報モラル講演会  
2年裏磐梯キャンプ  
(コロナ感染防止のため2021年度は中止)  
3年沖縄旅行  
(コロナ感染防止のため2021年度は8月下旬に変更)



3年歌舞伎教室  
授業参観



期末テスト  
緑蔭キャンプ  
夏期クラブ合宿  
奉仕活動



オーストラリア・ホームステイ・プログラム  
(コロナ感染防止のため2021年度は中止)



奉仕活動

10月

11月

12月

1月

2月

3月



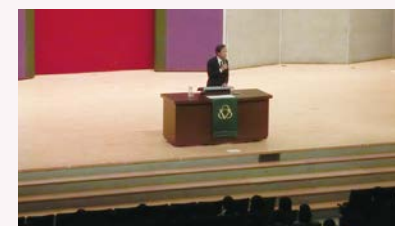
運動会  
中間テスト



中等部祭  
クリスマス・点火祭



期末テスト  
クリスマス礼拝



国際交流講演会(偶数年度)  
宗教講演会(奇数年度)  
伝道週間



音楽鑑賞会



学生会送別会  
スキー学校  
卒業式  
フィリピン訪問(奇数年度)  
韓国訪問(偶数年度)  
学年末テスト





## 平岡 雄一 さん

弁護士  
1998年 青山学院中等部 卒業  
2001年 青山学院高等部 卒業  
2005年 青山学院大学 法学部法学科 卒業  
2008年 日本大学大学院 法務研究科 終了  
2010年 司法試験合格  
2011年 弁護士登録、太田耕造法律事務所  
2016年 平岡法律事務所  
2021年 高津・平岡法律事務所

## 生涯にわたって続く 青学ファミリーという宝物

私は青山学院初等部から中等部に入りましたが、受験で入学する同級生と仲良くなれるか、最初は不安でした。しかし、入学してすぐのオリエンテーションキャンプでその不安はあっという間に解消されました。色々な友達と出会い、仲良くなり、色々な考え方に触れて、世界が一気に広がったような感覚を今でも覚えています。

中等部時代に一番熱中していたことは、野球部の活動です。私はキャプテンを務めましたが、チームからの信頼を得るために、まずは自分自身がしっかり努力している姿を示すことが大切だと学びました。そして、部員一人一人の気持ちに寄り添って行動することの大切さも学びました。

現在、私は弁護士として仕事をしていますが、努力を惜しまず頑張らないと依頼者からの信頼は得られませんし、色々な悩みや不安を抱える方の気持ちに寄り添って、困難な状況でも何が出来るかを一緒に考えることが大切だと思っています。野球部での経験は、そのような弁護士という今の仕事にも活かしていると感じています。

時には罪を犯してしまった人の弁護をすることもあります。悪いことだと知りながら何度も同じ罪を繰り返してしまう人もいます。そのような時、以前はあまり気に留めていなかった聖書の言葉が響いてきます。今でも中等部時代に学んだ聖書の言葉を大切に、依頼者の方々の助けになれるよう日々努力しています。

大人になり仕事や家庭を持ってからも、青山学院時代の友人や先生方とのつきあいはずっと続いていて「青学ファミリー」と呼べるような大切な関係になっています。中等部の一番素晴らしいところは、生徒の皆さんであり、それを支えてくださる先生方です。人生で一度しかない中等部生活ですから、一日一日を大切に、色々な人とコミュニケーションをとって、かけがえのない青学ファミリーを作ってください。

## 自分の居場所や可能性は 世界中に広がっている！

いくつかの学校の中から青山学院を選んだのは、中等部の制服がかわいかったから。自由度が高くて自分流に着こなしやコーディネイトもできるし、けっこう決め手になりましたね。渋谷や表参道に近い立地も最高でした。

中等部の夏休みにイギリスのオックスフォード大学に個人で短期留学したんですが、価値観がすごく変わりました。イギリスに行ってみれば日本人も韓国人も中国人も同じアジア人で、もっと言えば皆地球に住む地球人だなと。私の居場所は日本だけじゃないんだ、と自分の目で見て体験できたのは大きかったですね。

大学の時は韓国で有名な延世(ヨンセ)大学に交換留学で行き、映像演技を学びました。青山学院には中等部から大学まで、多様な留学システムと交換留学先があります。せっかく恵まれた環境にいるのですから、外国語の勉強と留学は必ずした方がいいと思います。私自身そうだったのですが、自分の居場所や可能性はここだけじゃない、世界中のどこでも生きていける!と思えることの心強さは身をもって実感しましたし、行き詰った時にも自分を助けてくれると思うんです。

今は俳優という仕事を通して、いろんな国の人も一緒に活動することも増えました。言語が違ってもお芝居することは変わらないし、映画やドラマが好きなのが集まって一緒に作品をつくるのはすごく楽しいです。中等部には校内のあちこちにスクールモットーの「地の塩、世の光」という言葉が貼ってあって、「あんなに分厚い聖書の中からずいぶん地味な言葉を引用するな」と思ってたんですけど、大人になるにつれ、塩も光も世の中に欠かせない存在、シンプルだけど私たちを生かす大事なものを表す力強い句だと気づきました。私も俳優として人に影響力のある仕事をしているので、できるだけいい影響を与える人間でありたいと思っています。



## 玄理 (ひょんり) さん

日韓英のトライリンガル俳優。  
第29回高崎映画祭にて最優秀新進女優賞を受賞。  
2002年 青山学院中等部 卒業  
中等部時代の夏休み、オックスフォード大学に短期留学  
2005年 青山学院高等部 卒業  
2009年 青山学院大学 法学部法学科 卒業  
在学中、韓国・延世大学に交換留学。帰国後俳優に。

## 行事や教科センター方式で 友達の輪が広がる

青山学院高等部2年  
Hさん



中等部は他校と比べて行事が多いのが特長のひとつです。毎年泊まりの行事があります(3年の時は残念ながらコロナで中止となりましたが)、聖歌隊にも所属していたので、母の日やイースターなど、特別な礼拝の時には必ず参加して奉仕の活動ができたのは貴重な体験でした。一番印象的な思い出は、2年生の中等部祭の時に自分たちで企画をして謎解きゲームのビデオをつくったこと。皆で力を合わせて何度もテイクをやり直したり、何時間もかけて撮影したりして、本当に楽しかったです。

ふだんの授業も、教科センター方式といって授業ごとに場所を移動するので、クラスや学年が違う人と顔を合わせる機会が多く、友達が増えていきました。各教科ごとに関連する本や資料、教材なども充実しているので興味が深まり、とても学びやすい環境だったと思います。

行事や活動を通して、いつも交わらない人と交わる機会が増えるので、「人と話す」という簡単だけど難しいことができる場が広がり、初対面でも積極的に話していく今の習慣に大きく影響しています。振り返ってみると、中学生活というのは本当に一瞬です。テストも増えて大変ですが自由な時間も増えるので、部活に打ち込むのもよし、好きなことや楽しむようなこと、自分を最大限活かせる活動にどんどん挑戦してください。

## やりたいことを認めてくれる 先生方との親密なつながり

青山学院高等部2年  
Mさん



卒業して改めて気付いたのですが、中等部では授業以外の休み時間にも先生方と自由にお話できる機会がたくさんあり、今思えばとてもありがたい環境だったと思います。先生方は教員室に留まらず、メディアスペースにいらっしゃる事が多く、話を聞いてもらいたい時は学校中を駆け回り先生を探したこともありました。他愛のない話をしたり、やりたい事を相談すると全力で応援してくれたり本当にあたたかく向き合ってくれて、とても充実した時間を過ごすことができました。コロナの影響で自宅学習になった時も、先生方が工夫して動画を作って配信して下さり、勉強を続けることができました。本当に感謝しています。「選択食物」では実習と調査で食文化を学びました。

3年間を通してチアダンス部に所属し、選手兼マネージャーを務めた事もかけがえのない思い出です。幹部として70名もの部員をまとめるのは大変なこともありましたが、後輩の繋がりにも気を配ったり、同期と一致団結する大切さも学ぶことができました。その時の経験は今でも色々な場面で役に立っています。

中等部は生徒も先生も本当にあたたかい環境です。明るく楽しい雰囲気の中で自分のやりたい事を貫き、夢中になる時間を過ごしてほしいです。

## “皆を笑顔にしたい” 学友会の活動で夢を叶える

青山学院大学 経営学部2年  
馬場 柊汰さん

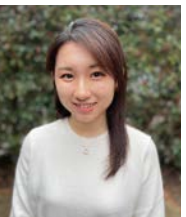


もともと小学校の時に学校見学で中等部祭を見た時に、「男女の仲がよくてすごく楽しそうだな」と思ったのが志望の動機だったので、自分が3年生の時に学友会に推薦されて中等部祭の運営に関わった思い出はひときわ印象的です。とくに新校舎になって初めての中等部祭だったので、前例がないところから創り上げなくてはならず、苦労もあったけどみんなが笑顔で楽しんでくれたのを見た時の達成感は今でも忘れられません。小学生の頃から人を笑顔にする仕事をしたっていう思いは漠然とあって、その思いが中等部の学友会の活動とか、国際交流で留学生をもてなしたりとか、いろんな場面で生きていて、現在大学で学んでいるマーケティングにもつながっていると思います。

僕は高校から部活動でフェンシングを始め、大学でも続けています。高等部時代に大学生の先輩が教えて下さったように、僕も先日、中等部の選択体育の授業でコーチとして参加しました。フェンシングって体だけでなく頭を使うスポーツなので、そういう戦略も伝えたり。こうやって先輩から後輩へ学校を越えて交流があるのは、一貫校だからこそ実現したことで貴重な体験ができました。中等部は生徒の言動を尊重してくださる先生方ばかりです。興味あることはもちろん、自分には関係ないと思うジャンルにも積極的にチャレンジして経験値を積むことが大切です。

## 隣人を愛し、感謝すること 自分と向き合う礼拝の時間

東京医科大学 医学部2年  
杉本 真衣さん



中等部には2時間目と3時間目の間に毎日礼拝があります。当時はそれがあたりまで生活の一部になっていましたが、今そういう時間がなくなって改めて思うのは、讃美歌を歌い、聖書を読み、心を落ち着けて静かに自分と向き合える時間が毎日あることのありがたさです。

聖書に「隣人を愛せよ」という言葉があります。この言葉は私が医学の道を志すと決めたことに大きな影響を与えていると感じます。また、どんなことにも感謝を忘れないというキリスト教の教えは、私の現在の考え方や行動の礎になっていると思います。

部活動では大所帯のテニス部をまとめる副部長でした。意見がぶつかった時にどうやって皆とコミュニケーションをとったらよいかなど学ぶことが多くあり、人間的な成長につながりました。予選を勝ち抜き都大会に進出した時の喜びはずっと忘れません。また、国際交流のプログラムで、オーストラリアの留学生を4日間ホームステイで受け入れ、言葉や文化の違いを越えて交流できたことはいい体験でした。着物を着たりディズニーランドに行ったりして、とても楽しい時間を過ごしました。

中等部の良さは、競争や順位付けがないので、人と比べることなく皆がそれぞれの個性を発揮して活躍できる場所があることです。それぞれが互いを尊重し合うのびのびした雰囲気につながっていたと思います。



# 高等部インフォメーション

High School Information

高等部について、詳しくはホームページへ

<http://www.agh.aoyama.ed.jp/>



# 中等部インフォメーション

Junior High School Information

入試・入学案内について、詳しくはホームページへ

<http://www.jh.aoyama.ed.jp/admission/index.html>



## 卒業後の進路



青山学院中等部を卒業する生徒の95%以上は青山学院高等部へ進学しています。高等部のホームルーム数は10クラスで、高等部からの入学生と混合になります。高等部卒業生の約85%以上は、青山学院大学へ進学しています。

## 高大連携

同じ敷地内に大学のほとんどの学部があるという恵まれた環境を活かし、「高等部生徒による大学授業の履修」「学問入門講座」など大学との連携を深めています。最先端の研究施設にふれたり、早くから大学の専門分野に特化した学問に接することで、各自の興味・関心を明確にし、学習意欲の向上をはかっています。



## 高等部学問入門講座

総合的な学習の時間の一環として、土曜日に青山学院大学・専門職大学院の教員による学問入門講座が年10回、約30講座開講されます。学問の面白さや奥深さに触れることができ、進路選択にも役立っています。

## 高等部制服



【男子】冬期は濃紺のブレザーとズボン。ワイシャツ等は白または薄い色。ネクタイは色・柄・着用ともに自由。

夏期は濃紺のズボンに白ワイシャツ・ポロシャツ等。

【女子】冬期は濃紺のブレザー。スカートまたは指定の濃紺ズボン。スカートはひだ付きの繊維製品で色は自由。

ブラウスは白または薄い単色。靴下は、白または紺。

夏期は、ひだ付き濃紺無地のスカートまたはズボンと白ブラウス・ポロシャツ等

【略装】略装として所定のスクールセーター・ベスト着用可。

## 国際交流



英国・ケンブリッジの名門パブリックスクールであるリーススクール。イタリア・ミラノにある国立レニャーニ高校の2校と姉妹校提携を結び、数名の生徒による短期交換留学を行っています。また、学院のプログラムでもあるフィリピン訪問プログラムなどを通して、生徒たちが豊かな国際性と価値観の多様性を身につけることができるよう期待しています。

## 入試結果

2022年度	男子	女子	合計
志願者	408	546	954
受験者	360	464	824
合格者	112	93	205
実質倍率	3.2	5.0	—
補欠者	10	10	20
合格最低点	178	193	—

## 2023年度入学試験日程

### 【募集人員】

定員 男女合わせて約140名

### 【願書受付】

●インターネット出願

2023年1月10日(火)～29日(日)予定

※日程が確定しましたら、HPにて公表します。

### 【試験日】

2023年2月2日(木)8:45～12:20 解散は12:40を予定

### 【試験科目・時間】

4科目

国語 100点 50分

算数 100点 50分

社会 50点 25分

理科 50点 25分

### 【合格発表】

2月3日(金)10:00 HP

### 【入学発表】

2月3日(金)10:30～15:00(予定)

中等部校舎

## 教育課程表(授業時間表)

	1年	2年	3年
国語	4	4	4
社会	4	4	3
数学	4	4	4
理科	3	4	4
英語	5	6	6
音楽	2	1	1
美術	2	1	1
保健体育	3	3	3
技術家庭	2	2	1
聖書	1	1	1
特活	1	1	1
選択	0	0	2
合計	31	31	31

## 学校説明会

【日時】《予約制》※受験生同伴可

①春の学校説明会 2022年6月18日(土)10:00～

②秋の学校説明会(I) 2022年9月17日(土)10:00～/14:00～

③秋の学校説明会(II) 2022年10月22日(土)10:00～/14:00～

オンライン説明会《予約制》

①、②、③を含む期間

●オンデマンド方式で配信予定

※詳細はHPをご覧ください。

【内容】(予定:状況によって変更する可能性があります)

1) 中等部の教育について

2) 学校生活について

3) 新校舎について

4) ハンドベル演奏

5) 入試に関する説明・連絡

6) 校舎見学及び入学相談(希望者)

【場所】

未定 ※詳細はHPをご覧ください。

## 中等部祭(文化祭)

11月5日(土) 10:30～16:00

11月6日(日) 12:30～16:00

(予約不要 上履き不要)

※詳細はHPをご覧ください